



# 奈良ゆかり探訪

第4回

～知ればその国の人に話したくなる～

奈良は東アジアから伝わった文化遺産にまつわるゆかりや、世界の国・地域との意外と知られていないゆかりがたくさんあります。普段見慣れた奈良の風景には、おどろくようなエピソードがいっぱい。

今月は、奈良とイギリスのゆかりを紹介します。



▲紅葉に包まれる奈良・長谷寺

## 奈良×イギリス



### イザベラ・バードが絶賛した秋の長谷寺

19世紀の偉大な女性旅行家で紀行作家でもあるイギリス出身のイザベラ・バードは、明治11年(1878年)11月に激しい雨の中、偶然訪れた長谷寺の美しさに感動し、他の場所では感じたことのない名残惜しさを感じたと書き残しています。

### 自然史博物館に所蔵される東吉野村のニホンオオカミ

今月号の「ならの生きものたち」でも紹介しているとおり、東吉野村での捕獲記録が最後。

この最後のニホンオオカミは、動物学上の貴重な資料として、ロンドンの自然史博物館にて標本として所蔵されています。

☎ 県国際観光課 ☎0742-27-8553 FAX 0742-23-0620



▲東吉野村にあるニホンオオカミのブロンズ像



▲東吉野村で捕獲されたニホンオオカミの毛皮

### ならの生きものたち 第17回



奈良県で絶滅してしまった生きものは、ニホンオオカミやニホンカワウソなど36種もいるのよ。今回はその中からニホンオオカミを紹介するわね。

### ニホンオオカミ

【哺乳類ネコ目(食肉目)イヌ科】



基準標本となっているニホンオオカミの剥製(オランダのライデン自然史博物館所蔵) 写真提供:近畿大学農学部 細谷和海

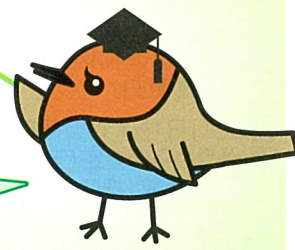
絶滅種

絶滅寸前種

絶滅危惧種

希少種

今年、環境省は新しいレッドリスト\*を公表して、数種類の生きものを新たに「絶滅」と判定したの。一度いなくなった生きものは、もう二度と復活することはないのよ。今、少なくなっている生きものは大切にしていこうね。



コマドリ先生

### Q & A

おしえてコマドリ先生!

Q:ニホンオオカミはどんな生きものだったの?

A:本州、四国、九州の山地に広く生息していて、シカやノウサギなどを食べていたらしいわ。

Q:ニホンオオカミはいつまでいたの?

A:明治38年、奈良県の吉野郡小川村鷺家口(現:東吉野村小川地区)での捕獲が、日本最後の捕獲記録となっているの。明治初期には奈良市の春日大社に出没したという記録があるくらい広く生息していたんだけどね。

Q:どうして絶滅したの?

A:明治時代、森林開発や銃の発達によってえさとなる動物が減り、さらに、ニホンオオカミの間で伝染病が流行したなどの説があるわ。

Q:絶滅によってどんな問題があるの?

A:ニホンオオカミはシカなどのほかの動物を食べ、その数を減らすことで、生態系のバランスを保ってきたの。今、増えすぎたシカが森の草木を食べ尽くしたり、農林業に大きな被害を及ぼしているけど、シカが増えた原因の一つにニホンオオカミの絶滅があるともいわれているのよ。

\*レッドリスト…野生の生きものを絶滅の危険度でランクづけているリスト

☎ 県自然環境課 ☎0742-27-8757 FAX 0742-22-7060

奈良の生きもの情報調査 検索